

教育プログラム プランニングシート

	テーマ	ありがとうヒツジ	担当者	宮川、山川、石尾				
	目標	家畜代表としてヒツジの利用（毛を中心に）について学び、その他身近にある動物製品の加工工程に興味をもたせ、その影響も含め、野生動物の密猟や絶滅している動物についても考えを広げてもらう。						
	対象	小学全学年 参考となる単元：道徳6年「38億年の命」「クメール餅」「命の旅」、国語6年「イースター島にはなぜ森林がないのか」等						
	場面	問題解決的展開	教育者(飼育員)の支援	考えの表現	子どもの学習活動	指導の視点 個 協 資		
学 校 に て	事前学習	①テーマの導入	学習目標を子どもたち、教育者と確認する 「家畜としてのヒツジ、動物の利用を さぐる！」 記述シートの目標と対応させる			個 協 資		
			②予想や仮設	<ul style="list-style-type: none"> ・「ヒツジってしってる?」「どんなイメージ?」 ・私たち人間と関わりがある事知ってる? ・「見たことある?」 	談話		<ul style="list-style-type: none"> ・「知ってる」、「知らない」「モコモコ」 ・「知らない」「知らない」「毛糸」「お肉」など 	個
				動画を見てもらう <ul style="list-style-type: none"> ・「どうして毛刈りをすると思う?」「何のためにやってるのかな?」 ・「毛はどうすると思う?」 *動画を見てもらい、スライドも一緒に観てもらい下記についての質問をしてもらう	談話		「暑くなるから」「セーター作る為」 ・「洗う?」	
				③課題の見出し 「どうやってセーターになると思う?」 ・「この毛のできる物は何だろう?」 ・「実はこんな物も出来ている」(スライドでバオなども見てもらう) 今度動物園へ行き、ヒツジの毛の体験をします! どんなことを知りたい? やってみたい?	談話		・「毛糸、セーター、」 ・どうやって作られるか考えてもらう	
		記述シート①	記述紙②	記述紙③	記述紙④	資		
動 物 園 に て	観察学習	④観察と記録	<ul style="list-style-type: none"> ・ヒツジの洗毛前の物を観察触る。 ・フェルト状にするための種明かし ・実際にフェルトのコースターを作ってもらおう。(←今後所要時間検討) 	観察記録	フェルトになる過程を考えながら個々でおこなう。	資 個		
	事後学習	⑤結果の考察	実際に作ってみてどうだったか。 ・ヒツジの毛についての感想や他の物(例えば肉としてスーパーに出回る工程など)	談話	<ul style="list-style-type: none"> ・「むずかしかった」 ・「大変だった」 	個 協		
		⑥知識の活用	ヒツジだけでなく身の回りにあるもので動物が関わっている物を探してみてね。	談話	<ul style="list-style-type: none"> ・「毛糸の作り方」「肉の利用」「特にない」 ・他にどんな加工品があるのか(家畜、野生)興味を持ち調べ、取りすぎて後々取れなくなってしまう事や、他の生態系を壊さないようにしていくためには、どのようにしていけばいいかも考えてもらう。 	個 協		
				記述紙⑤	記述紙⑥			